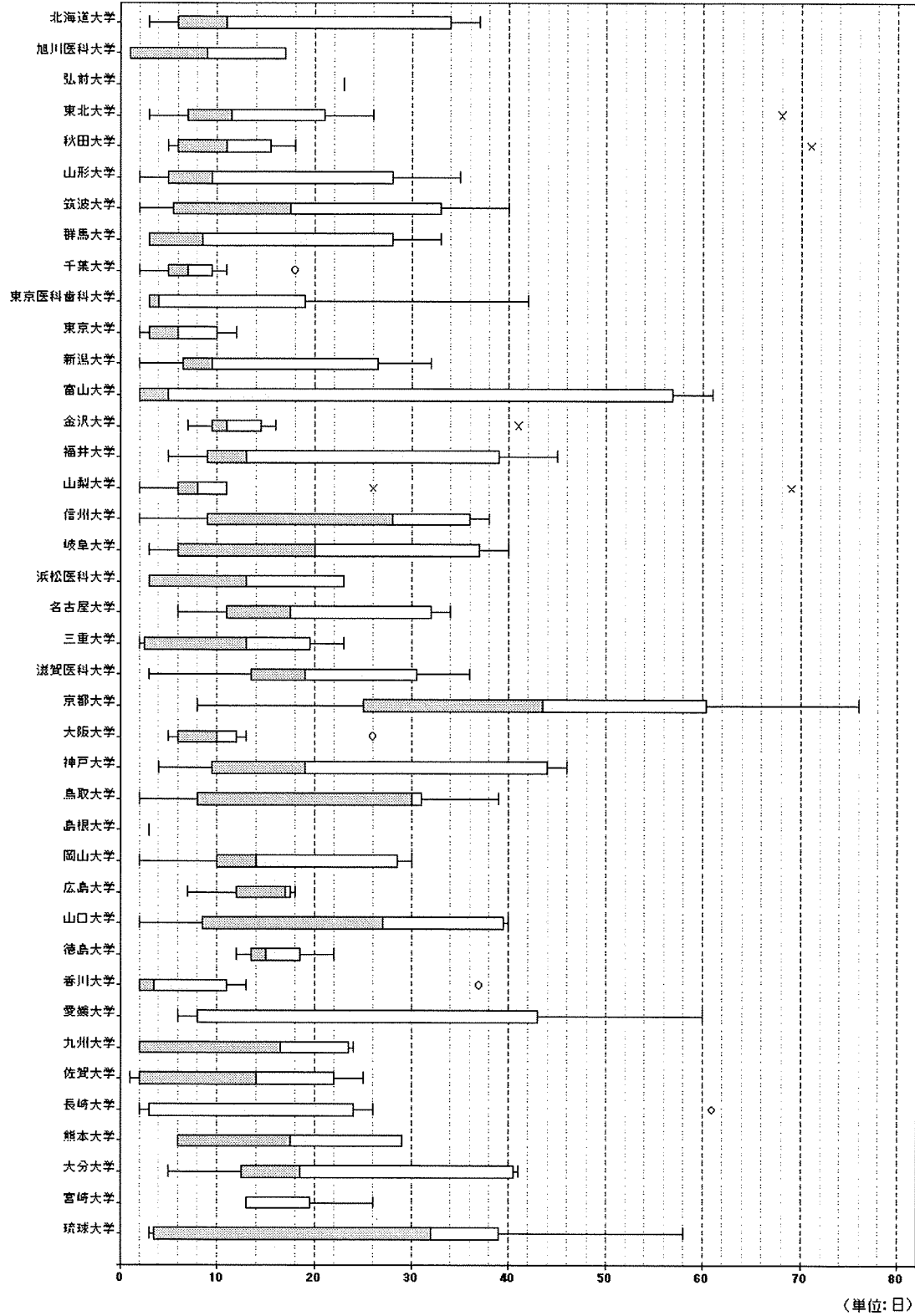


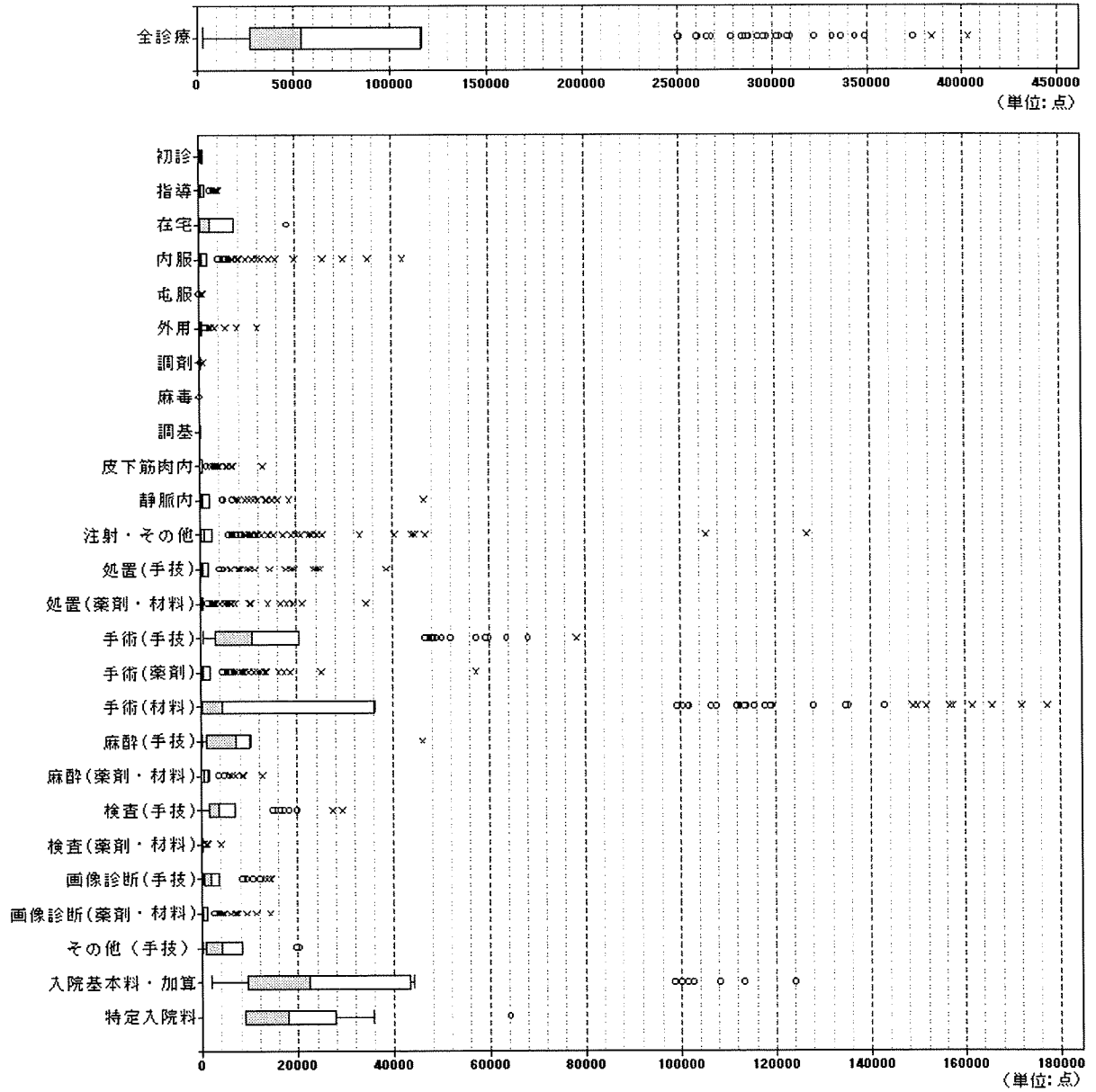
条件名:平成17年度
 DPC:【1610603x97x0xx】 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

施設別在院日数



条件名: 平成17年度
 DPC:【1610603x97x0xx】 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

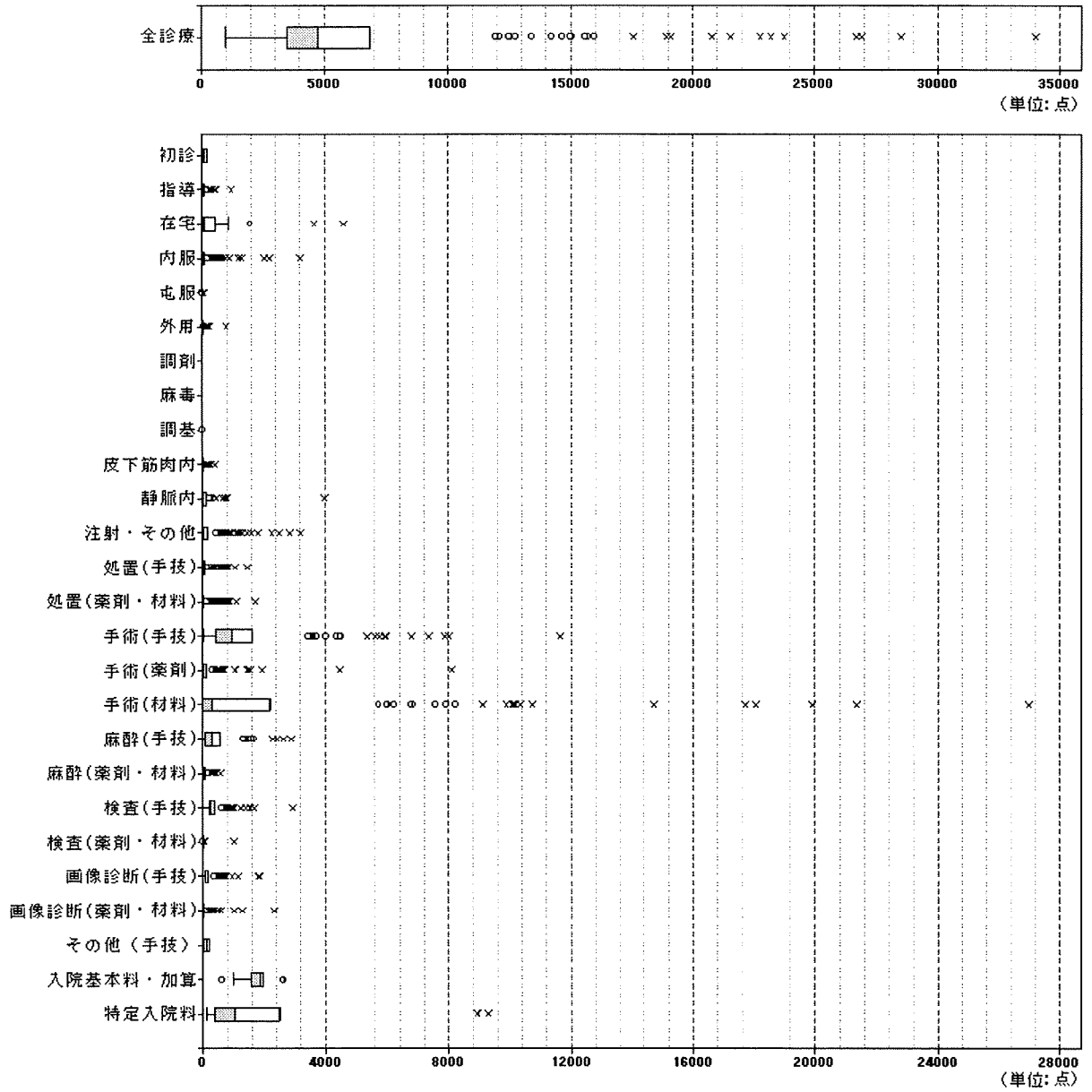
(1入退院あたり)診療報酬区分別箱ひげ図



条件名:平成17年度

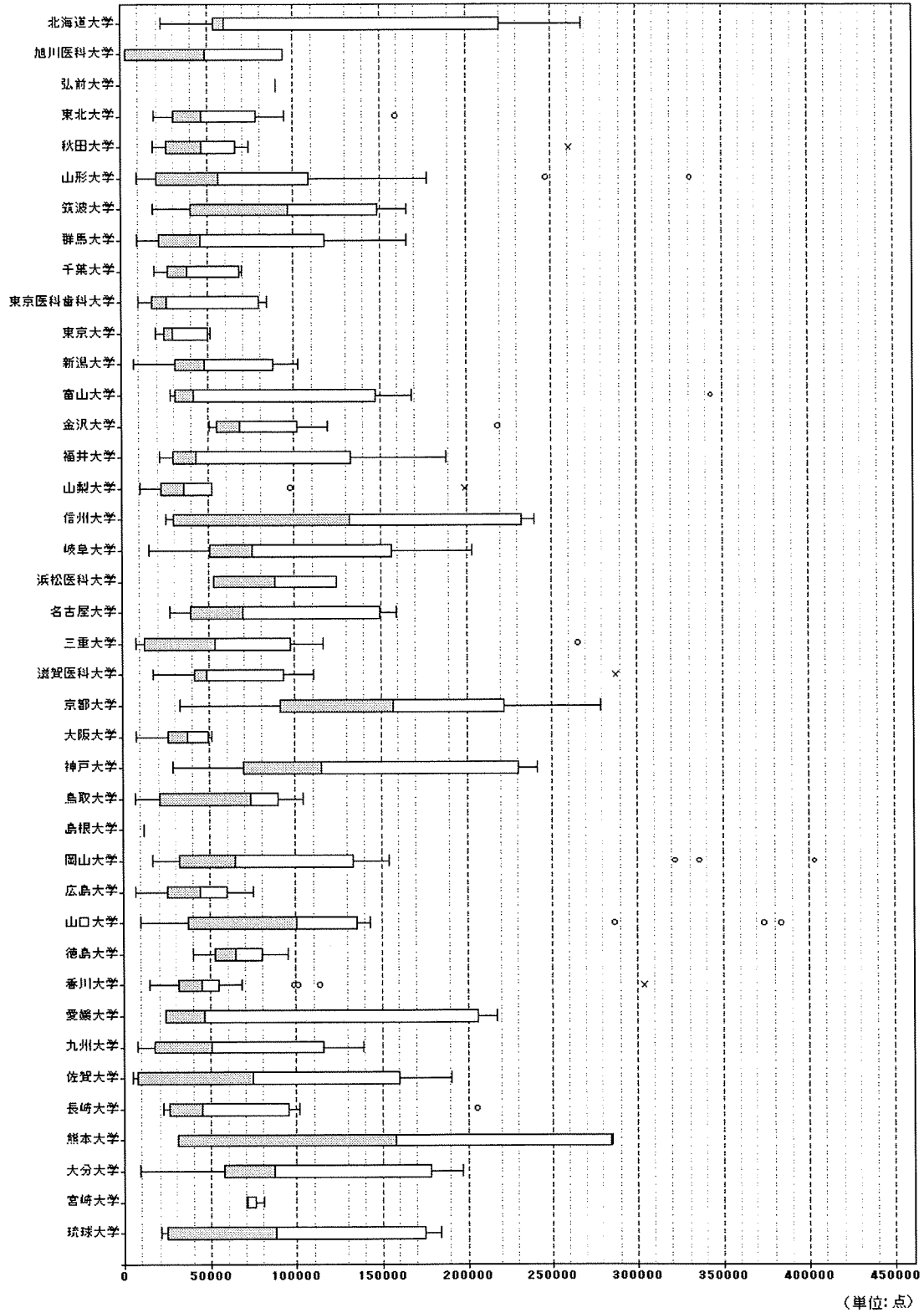
DPC:【1610603x97x0xx】 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

(1日あたり)診療報酬区分別箱ひげ図



条件名:平成17年度
 DPC:【1610603x97x0xx】 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

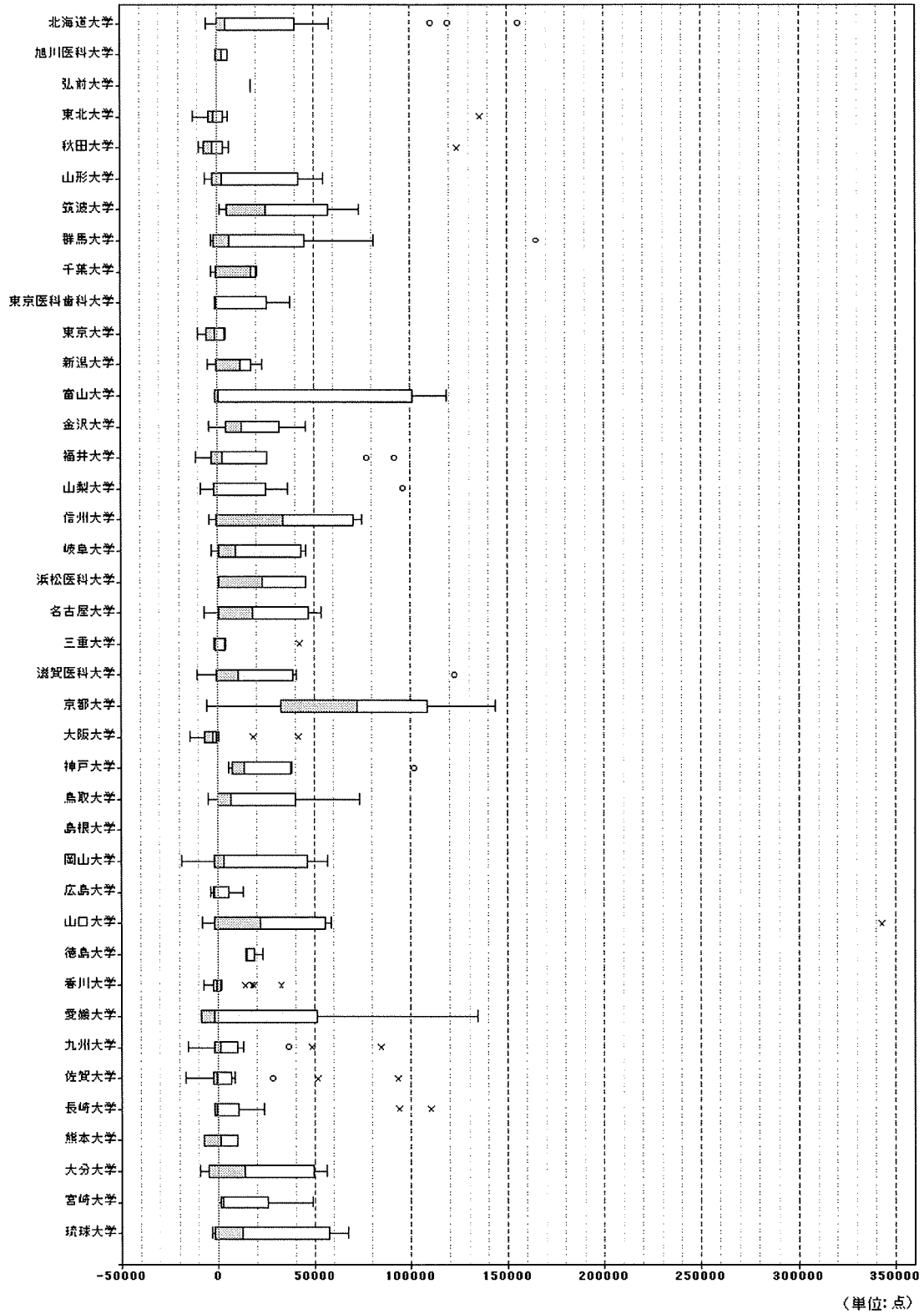
(一入退院あたり)病院別診療報酬箱ひげ図



条件名:平成17年度

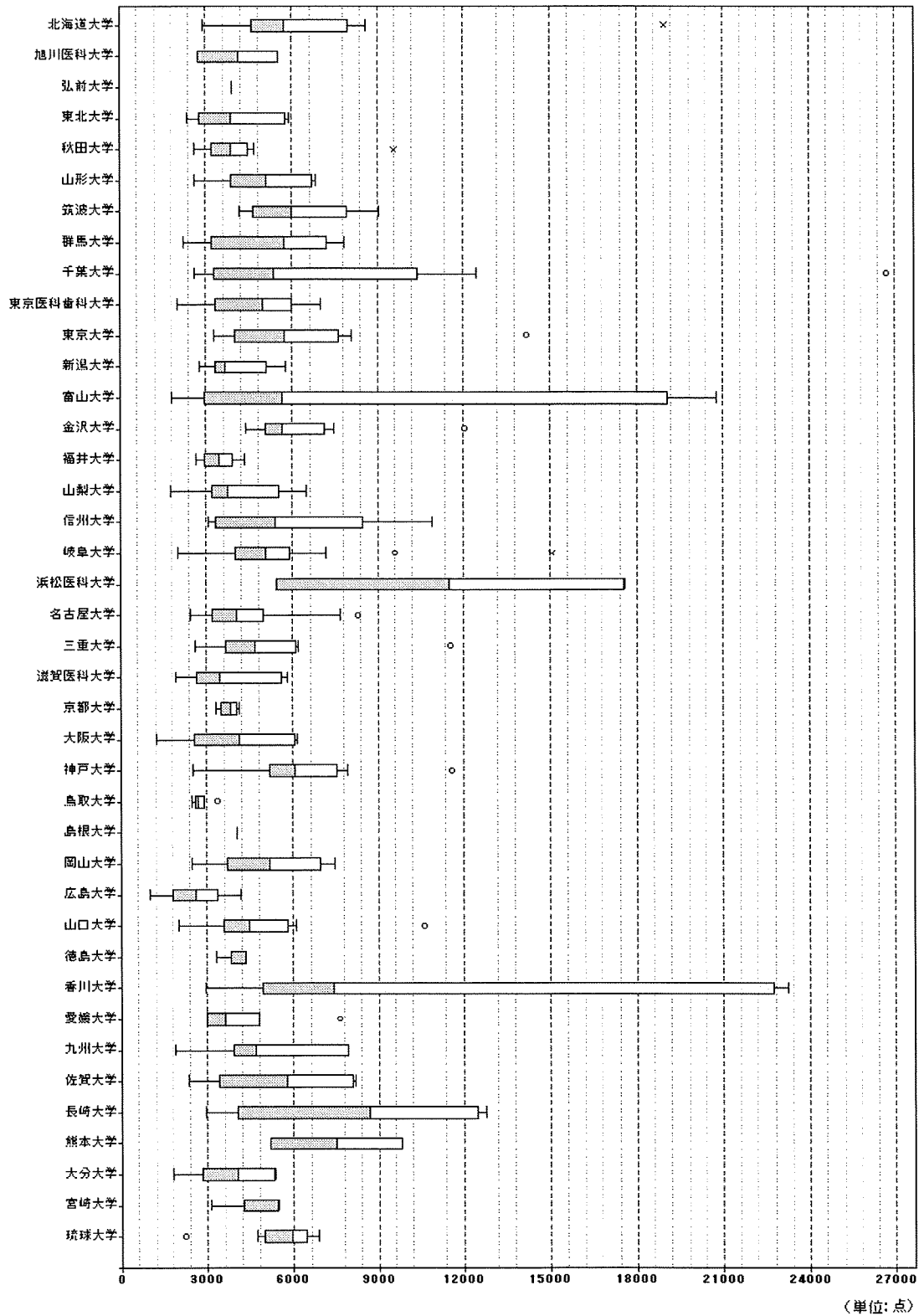
DPC:【1610603x97x0xx】 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

(一入退院あたり)病院別診療報酬差分箱ひげ図



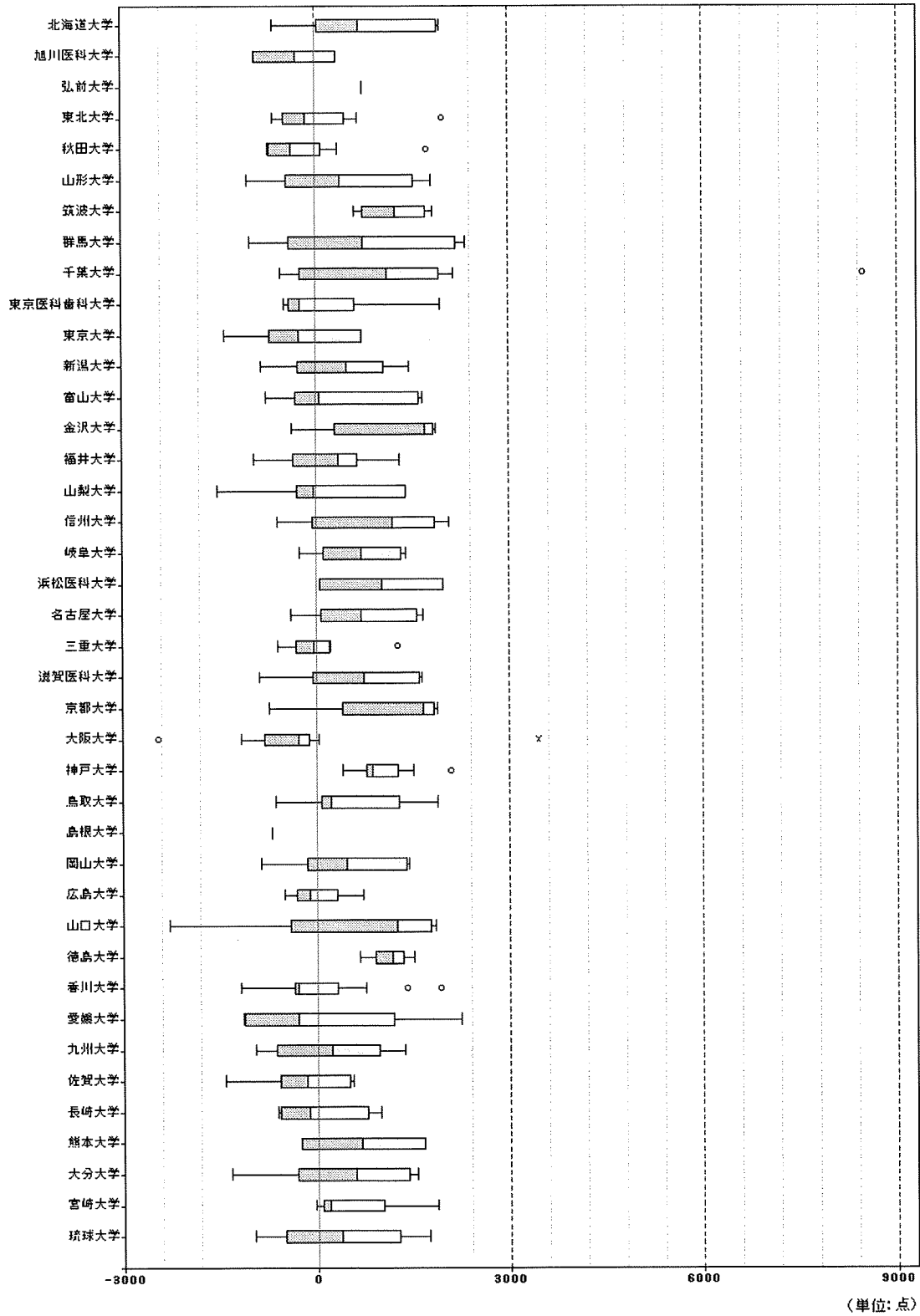
条件名:平成17年度
 DPC:【1610603x97x0xx】 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

(一日あたり)病院別診療報酬箱ひげ図

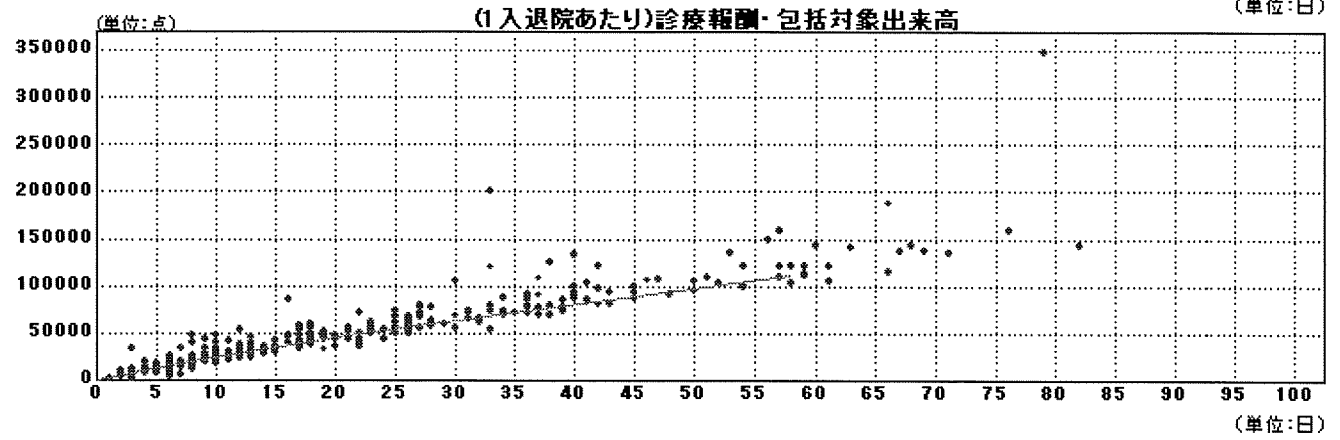
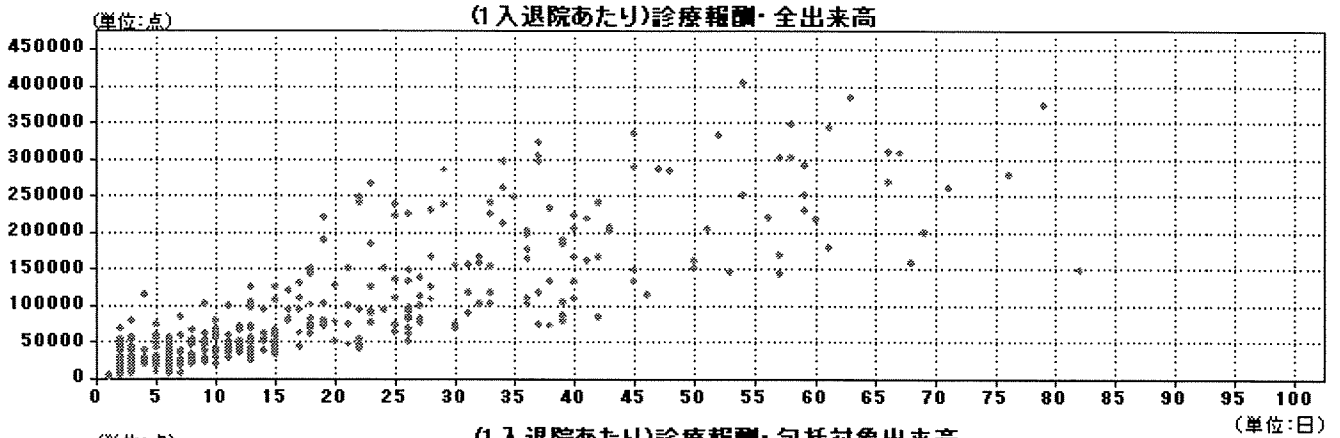


条件名:平成17年度
 DPC:【1610603x97x0xx】 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

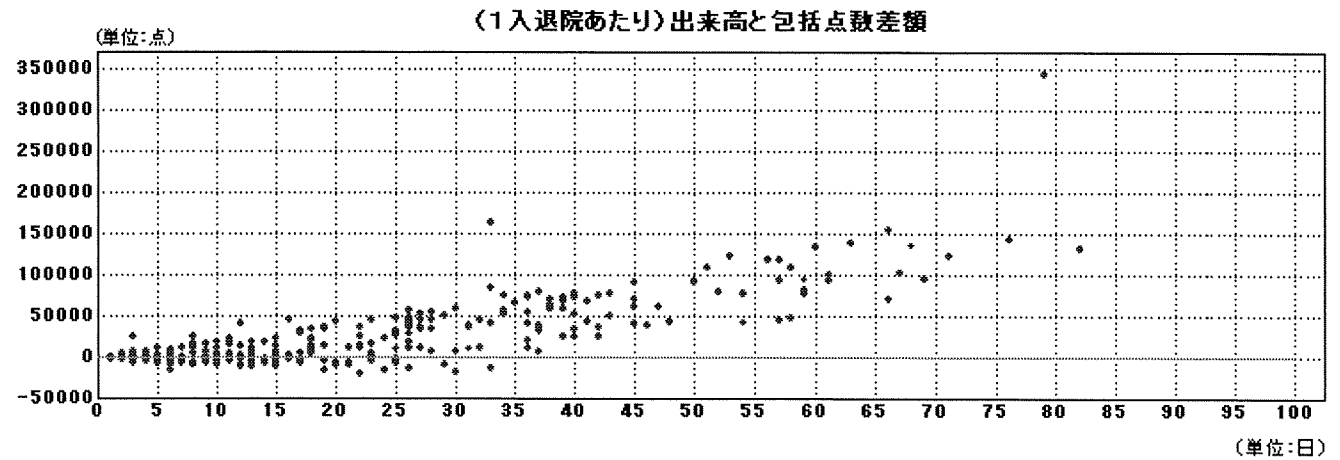
(一日あたり)病院別診療報酬差分箱ひげ図



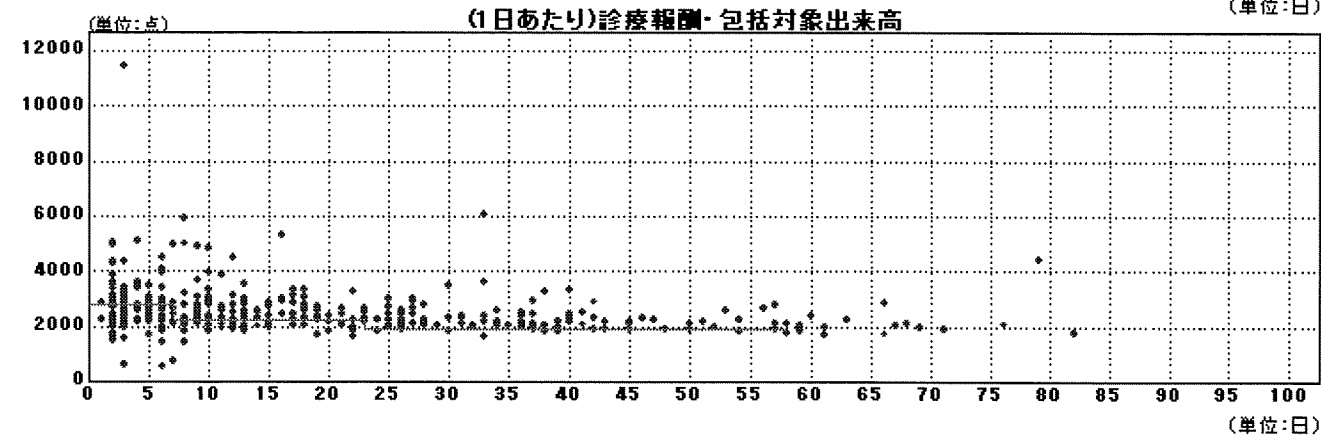
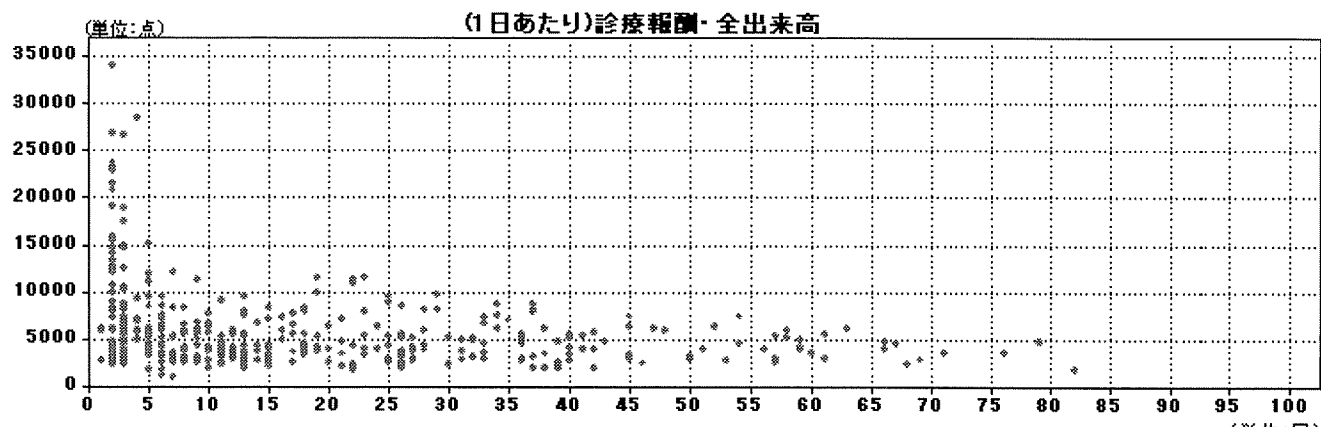
案件名:平成17年度
DPC:[1610603×97×0××] 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし



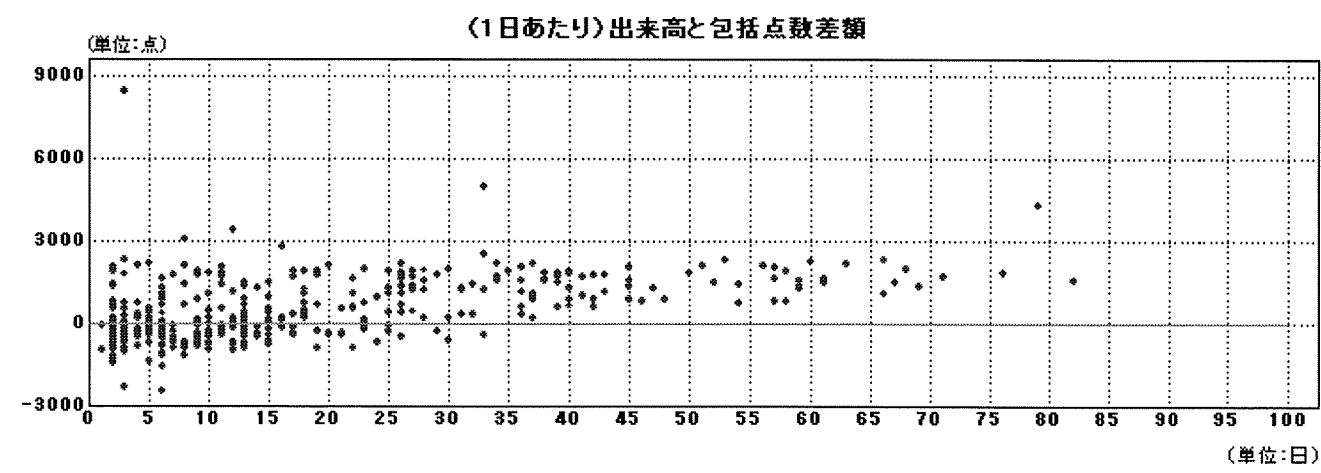
案件名:平成17年度
DPC:[1610603×97×0××] 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし



案件名:平成17年度
 DPC:[1610603×97×0××] 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし



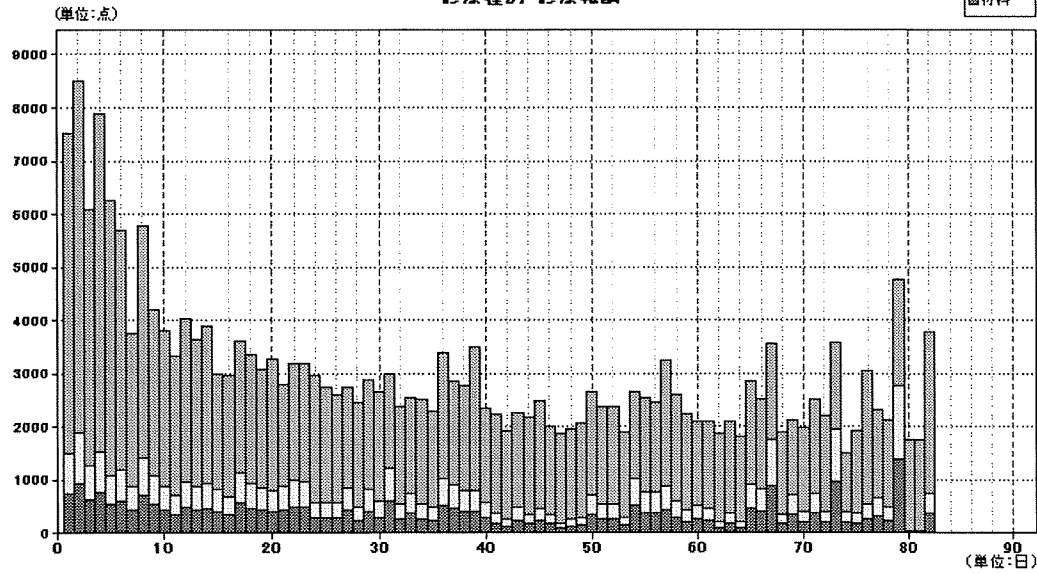
案件名:平成17年度
 DPC:[1610603×97×0××] 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし



条件名:平成17年度
 DPC-[1610600:97:000] 詳細不明の損傷等 手術:あり 処置等2:なし

診療種別・診療報酬

■手技
 □薬剤
 ▨材料



条件シート名:【平成17年度】

基本統計量

診療区分名	サンプル数	最小値	最大値	合計	平均	分散	標準偏差	変動係数	尖度	歪度
初診	71	255	985	38710	545.21	26376.36	162.41	29.79	2.634864	0.112589
指導	253	220	4025	219590	867.94	553328.19	743.86	85.70	7.162476	2.055049
在宅	22	108	18340	81088	3685.82	19873140.24	4457.93	120.95	5.762162	1.720427
内服	315	1	42138	576951	1831.59	19784840.62	4448.02	242.85	40.799795	5.581598
屯服	167	1	800	11173	66.90	12865.43	113.43	169.53	20.911241	3.893721
外用	244	2	11998	106562	436.73	1099391.39	1048.52	240.08	72.914673	7.52129
調剤	340	7	539	35238	103.64	11804.27	108.65	104.83	4.982797	1.542507
麻毒	82	1	59	1139	13.89	258.37	16.07	115.72	3.241565	1.2076
調基	215	42	126	11844	55.09	542.50	23.29	42.28	4.588328	1.600247
皮下筋肉内	119	6	13026	116964	982.89	4364100.84	2089.04	212.54	12.481622	2.862105
静脈内	165	6	46533	343479	2081.69	23186588.52	4815.25	231.31	46.447645	5.658529
注射・その他	335	10	126610	1237741	3694.75	118394335.63	10880.92	294.50	74.257041	7.558188
処置(手技)	281	21	38646	498620	1774.45	18227159.79	4269.33	240.60	31.824449	4.924461
処置(薬剤・材料)	272	1	34383	314434	1156.01	12807390.09	3578.74	309.58	39.87947	5.577724
手術(手技)	395	470	78370	5999432	15188.44	239422106.55	15473.27	101.88	3.867272	1.292912
手術(薬剤)	368	4	57321	671172	1823.84	18056294.47	4249.27	232.99	84.164646	7.361483
手術(材料)	259	1	177276	6886387	26588.37	1787678302.58	42280.94	159.02	5.482076	1.853254
麻酔(手技)	224	120	46040	1606416	7171.50	31959719.96	5653.29	78.83	11.528614	1.47366
麻酔(薬剤・材料)	254	2	12795	249881	983.78	2208725.62	1486.18	151.07	23.74067	3.770957
検査(手技)	367	50	29265	1820769	4961.22	19780556.73	4447.53	89.65	6.937921	1.641078
検査(薬剤・材料)	50	2	4046	13920	278.40	399699.52	632.22	227.09	25.485286	4.395151
画像診断(手技)	309	110	14471	785229	2541.19	6750133.48	2598.10	102.24	8.209444	2.003774
画像診断(薬剤・材料)	264	9	14278	241195	913.62	2872329.58	1694.79	185.50	25.015202	4.068524
その他(手技)	104	80	20290	543451	5225.49	23973748.44	4896.30	93.70	3.392891	1.026523
入院基本料・加算	389	1988	124119	11549687	29690.71	626847689.31	25036.93	84.33	3.674078	1.105763
特定入院料	21	8890	64330	461982	21999.14	205106673.65	14321.55	65.10	4.280313	1.271786
全診療	395	2724	403397	34423054	87146.97	6969637299.42	83484.35	95.80	4.570268	1.490226



200500279A

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 (H15-長寿-011)

国立大学病院医療に及ぼすDPC導入の影響

—主要老年病の医療・治療の標準化・充実—を目指して—

平成17年度 総括研究報告書別冊3-1

平成17年度調査データに基づく
DPCプロセス・ベンチマーキング分析結果の概要

第1部 MDC01-MDC06

主任研究者 西岡 清

(横浜市立みなと赤十字病院 病院長)

平成18(2006)年4月

厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)
平成 17 年度総括研究報告書・別冊 3-1

国立大学病院医療に及ぼすDPC導入の影響
—主要老年病の医療・治療の標準化・充実を目指して—

平成 17 年度調査データに基づく DPC プロセス・ベンチマーキング分析結果の概要

第1部 MDC01—MDC06

主任研究者 西岡清 横浜市立みなと赤十字病院病院長

分担研究者 伏見清秀 東京医科歯科大学助教授
石田達樹 東京医科歯科大学専門官

目 次

I. 平成17年度調査データに基づくDPCプロセス・ベンチマーキング	
分析結果の概要 第1部 MDC01-MDC06 -----	1
1. DPCプロセス・ベンチマーキング分析結果に関する解説 -----	3
2. DPCプロセス・ベンチマーキング分析結果 -----	17

I. 平成 17 年度調査データに基づく
DPC プロセス・ベンチマーキング分析結果の概要

第1部 MDC01-MDC06

1. DPC プロセス・ベンチマーキング分析結果に関する解説

DPC プロセス・ベンチマーキング分析結果に関する解説

1. プロセス・ベンチマーキングとは

診療プロセスを医療機関相互、あるいは”Best Practice”と比較することにより、診療プロセスの改善を通して医療の質の向上を図ること。DPC 調査の EF ファイルの解析によりプロセス・ベンチマーキングを行うことができる。

2. DPC プロセス・ベンチマーキング分析の方法

DPC 分類毎に入院経過中の手術、検査・画像診断、投薬注射等の実施状況を直接比較することにより、”Best Practice”を探っていく。例えば、診療の効率性のベンチ・マーキングなどによって、ある医療機関の平均在院日数が平均値より長いことがわかったような場合、その改善を図る必要がある。しかし、その病院で平均在院日数が長い原因を突き止めることは容易なことではない。ただ、在院日数を減らせ、という医療機関管理者のかけ声だけで終わってしまうことも少なからずある。

ここで、プロセス・ベンチマーキングの手法を用いると、DPC 分類毎の個別の疾患で、手術をはじめとして注射、画像診断、ICU の利用状況などを1日単位のタイムスケールで、他の医療機関と直接比較することができる。手術が入院後何日目ぐらいに実施されているか、入院後画像診断はどの程度実施されているのか、入院後の点滴注射はいつ頃行われているのか、ICU はどのように利用されているのか等が手に取るようにわかり、他の医療機関と比較することができる。

このような情報を活用して、診療プロセスを他の医療機関と比較しながら、「ベスト・プラクティス」を目指して、改善を積み重ねていくことで、診療の効率化がはかられ、在院日数の短縮や、病床回転の向上に結びつけることができるとともに、医療経営の観点からも、より合理的な診療方針を決定することができる。

3. DPC プロセス・ベンチマーキング分析の結果の見方

プロセス・ベンチマーキングの結果は図1のような形で表される。本報告書に収載した分析は、平成17年度のDPC調査データを基に作成された、DPC傷病名分類毎、手術の有無別に、診療報酬区分毎の解析である。より詳細なDPC分類毎の解析や個別診療行為毎の明細データの解析も実施したが、本報告書ではスペースの関係

から収載を省略した。

グラフでは、X軸方向に入院日からの経過日数を取り、Y軸方向に各国立大学附属病院のデータが並んで示される。Y軸の一番手前には、国立大学附属病院の平均値が表示されている。垂直方向のZ軸は1日当たりの診療区分毎の診療報酬点数が表示されている。

図1には DPC010010 脳腫瘍手術有り症例の画像診断の1入院症例1日当たりの平均点数を示した。国立大学附属病院では、入院後第2日が最も高く、この日に画像診断が実施されている症例が多いことが示されている。福井医科大学、滋賀医科大学などでは入院後5日目以降により多くの画像診断が実施されていることがわかる。各病院ではこのような情報を元に診療プロセスの見直しを行うことができると考えられる。

図2には、DPC020110 白内障、水晶体の疾患、手術有り症例の手術点数の1入院当たりの入院経過日毎の点数を示した。多くの病院では入院後2日目に大部分の手術が実施されているが、一部の大学附属病院では、入院後4日目以降に手術が実施されることが多いことがわかる。

図3、図4は、DPC040040 肺の悪性腫瘍、手術有り症例の手術と画像診断の1入院当たりの入院経過日毎の点数を示した。手術の点数の状況からは、手術の実施日は入院後3日目頃から10日目頃までと、医療機関間で大きな差異があることがわかる。その原因を、画像診断などの診療行為の状況と合わせて分析することで明らかにすることができる。図4の画像診断の実施状況を見ると、入院後の画像診断の実施までに時間がかかると、手術実施までの時間が長くなる可能性が示されている。このような分析から診療プロセス効率化の鍵を見いだすことができる。

診断群分類毎に図5に示すように病院毎の症例数と平均在院日数の集計値がグラフとして示されている。このグラフは平均在院日数が長い順に各病院のデータが並べられているので、各病院が全体の中でどこに位置しているかを把握することができる。

図6にそれぞれのページ内の構成を示す。それぞれのページにおいて、在院日数が長い病院は上段に、短い病院は下段に示されている。また、病院はそれぞれのパネル内で在院日数が長い順番に上から並べられている。

図6には狭心症冠動脈形成術の患者の手術実施状況のベンチマークが示されているが、この図を見ると在院日数が長い病院と短い病院の診療プロセスが大きく異なることがよくわかる。下段のパネルに示される在院日数が短い病院では、手術実施日が入院代2日目付近でほぼ揃っているが、対照的に、上段のパネルに示される在院日数が長い病院では、手術実施日のバラツキが大きいことがよくわかる。

これらの結果からは、在院日数の短縮には、手術の実施プロセスなどの標準化が

重要であることが推察される。入院計画と手術室、カテーテル室等の利用プランを整理することで在院日数の短縮されることが期待されよう。

ここでは、ごく一部の分析例を示したが、他の疾患についても同様な方法で解析する事により、それぞれの大学附属病院の特徴や改善すべき点などを明らかにすることができると考えられる。

本報告書では、次ページからの表に示す 207 診断群分類の症例について、点滴注射、手術、画像診断、特定入院料の点数を分析したグラフを収載した。

本報告書第1部に分析結果を収載したDPC診断群分類の一覧

診断群分類コード	診断群分類名称
0100101xxxxxx	脳腫瘍(検査入院)
0100103001000x	脳腫瘍(15歳以上)頭蓋内腫瘍摘出術等手術・処置等1なし手術・処置等2なし副傷病なし
0100103001001x	脳腫瘍(15歳以上)頭蓋内腫瘍摘出術等手術・処置等1なし手術・処置等2なし副傷病あり
0100103001011x	脳腫瘍(15歳以上)頭蓋内腫瘍摘出術等手術・処置等1なし手術・処置等2あり副傷病あり
0100103099x11x	脳腫瘍(15歳以上)手術なし手術・処置等2あり副傷病あり
0100301xxxxxx	未破裂脳動脈瘤(検査入院)
0100303x01x0xx	未破裂脳動脈瘤脳血管内手術手術・処置等2なし
0100303x02x0xx	未破裂脳動脈瘤脳動脈瘤頸部クリッピング等手術・処置等2なし
0100503x02x0xx	非外傷性硬膜下血腫慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術手術・処置等2なし
0100601xxxxxx	脳梗塞(検査入院)
0100603001xxxx	脳梗塞(JCS30未満)経皮的脳血管形成術
0100603099x00x	脳梗塞(JCS30未満)手術なし手術・処置等2なし副傷病なし
0100603099x01x	脳梗塞(JCS30未満)手術なし手術・処置等2なし副傷病あり
0100603099x11x	脳梗塞(JCS30未満)手術なし手術・処置等2あり副傷病あり
0101103xxxx2xx	免疫介在性・炎症性ニューロパチー(検査入院を除く。)手術・処置等22あり
0101553x99xx0x	脊髄性筋萎縮症および関連症候群手術なし副傷病なし
0102301xxxxxx	てんかん(検査入院)
0102303099x00x	てんかん(1歳以上)手術なし手術・処置等2なし副傷病なし
0201103x01x000	白内障、水晶体の疾患白内障手術+眼内レンズ挿入術手術・処置等2なし副傷病なし片眼
0201103x01x001	白内障、水晶体の疾患白内障手術+眼内レンズ挿入術手術・処置等2なし副傷病なし両眼
0201103x01x010	白内障、水晶体の疾患白内障手術+眼内レンズ挿入術手術・処置等2なし副傷病あり片眼
0201103x01x011	白内障、水晶体の疾患白内障手術+眼内レンズ挿入術手術・処置等2なし副傷病あり両眼
0201503x04x1xx	斜視(外傷性・癒着性を除く。)斜視手術前転法及び後転法の併施手術・処置等2あり
0201503x05x1xx	斜視(外傷性・癒着性を除く。)斜視手術後転法手術・処置等2あり
0201703x010x00	裂孔原性網膜剥離網膜復位術手術・処置等1なし副傷病なし片眼
0201703x020xx0	裂孔原性網膜剥離硝子体茎頭微鏡下離断術手術・処置等1なし片眼
0201703x021xx0	裂孔原性網膜剥離硝子体茎頭微鏡下離断術手術・処置等1あり片眼
0201803x011xxx	糖尿病性増殖性網膜症増殖性硝子体網膜症手術手術・処置等1あり
0201803x021xxx	糖尿病性増殖性網膜症硝子体茎頭微鏡下離断術手術・処置等1あり
0202003x020xxx	黄斑、後極変性硝子体茎頭微鏡下離断術網膜付着組織を含むもの手術・処置等1なし
0202003x021xxx	黄斑、後極変性硝子体茎頭微鏡下離断術網膜付着組織を含むもの手術・処置等1あり
0202003x960xxx	黄斑、後極変性関連手術あり手術・処置等1なし
0202103x02xxxx	網膜血管閉塞症硝子体茎頭微鏡下離断術網膜付着組織を含むもの
0202201xxxxxx	緑内障(検査入院)
0202203x010x0x	緑内障緑内障手術 線維柱帯切断術、線維柱帯切除術、経毛様体扁平部濾過手術手術・処置等1なし副傷病なし
0202203x011xxx	緑内障緑内障手術 線維柱帯切断術、線維柱帯切除術、経毛様体扁平部濾過手術手術・処置等1
0202403x021xx0	硝子体疾患硝子体茎頭微鏡下離断術手術・処置等1あり片眼
0202803x01xxx0	角膜の障害角膜移植術片眼
0302303x01xx0x	扁桃、アデノイドの慢性疾患口蓋扁桃手術副傷病なし
0302501xxxxxx	睡眠時無呼吸(検査入院)
0302503x99x0xx	睡眠時無呼吸手術なし手術・処置等2なし
0302703xxxxxx	上気道炎
0303503x97xx0x	慢性副鼻腔炎手術あり副傷病なし
0304003x99xxxx	前庭機能障害手術なし
0304283xxxxxx	突発性難聴
0304403x01xx0x	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫鼓室形成手術副傷病なし
0400401xxxxxx	肺の悪性腫瘍(検査入院)
0400403x02xxxx	肺の悪性腫瘍肺悪性腫瘍手術
0400403x04x00x	肺の悪性腫瘍肺切除術等手術・処置等2なし副傷病なし
0400403x97x1xx	肺の悪性腫瘍その他の手術あり手術・処置等2あり
0400403x99x00x	肺の悪性腫瘍手術なし手術・処置等2なし副傷病なし
0400403x99x10x	肺の悪性腫瘍手術なし手術・処置等21あり副傷病なし
0400403x99x20x	肺の悪性腫瘍手術なし手術・処置等22あり副傷病なし
0400403x99x21x	肺の悪性腫瘍手術なし手術・処置等22あり副傷病あり
0400603x99xxxx	急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎(検査入院を除く。)手術なし
04008030xxx00x	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(6歳以上)手術・処置等2なし副傷病なし